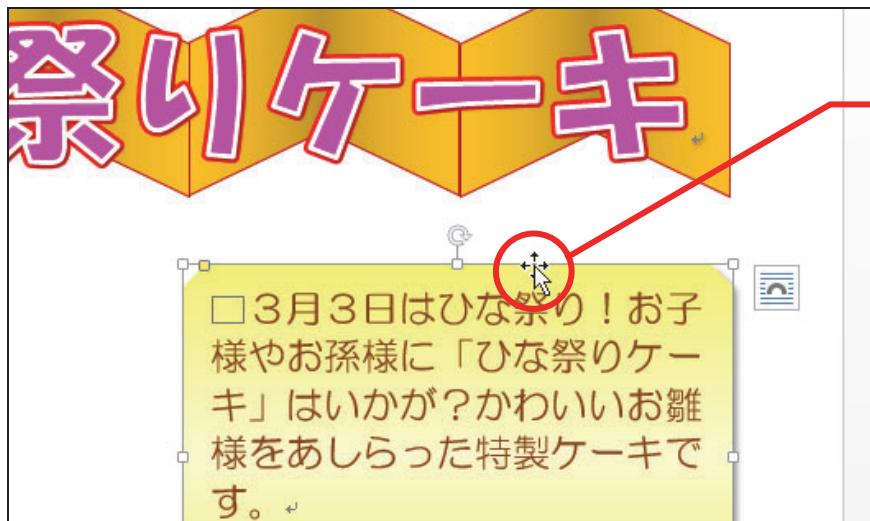


## 2 [テキストボックスのリンク] を設定する

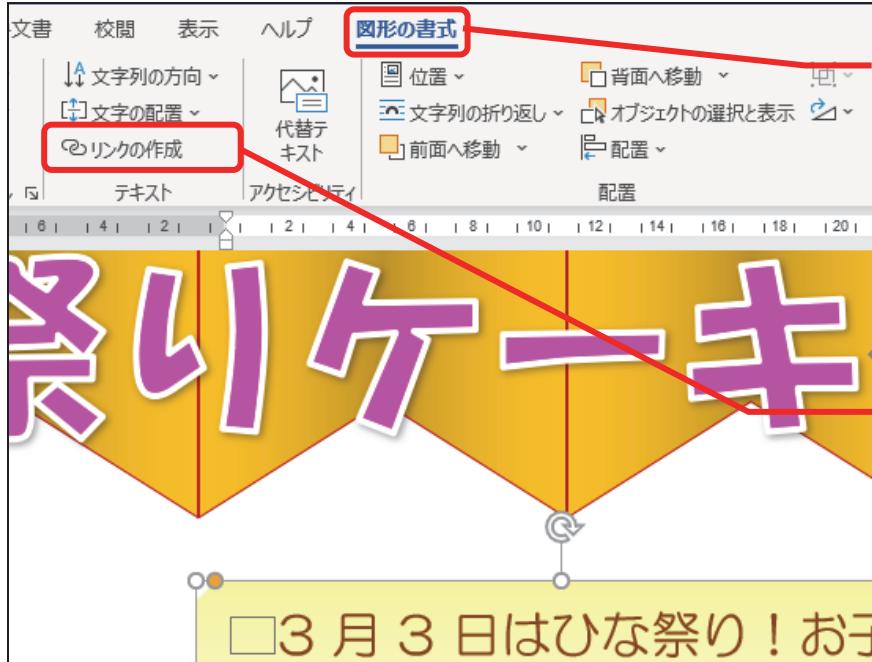
文字が入力された図形に、「テキストボックスのリンク」を設定します。

3つの八角形にリンクを設定してみましょう。



- ① リンク元の図形を選択します。

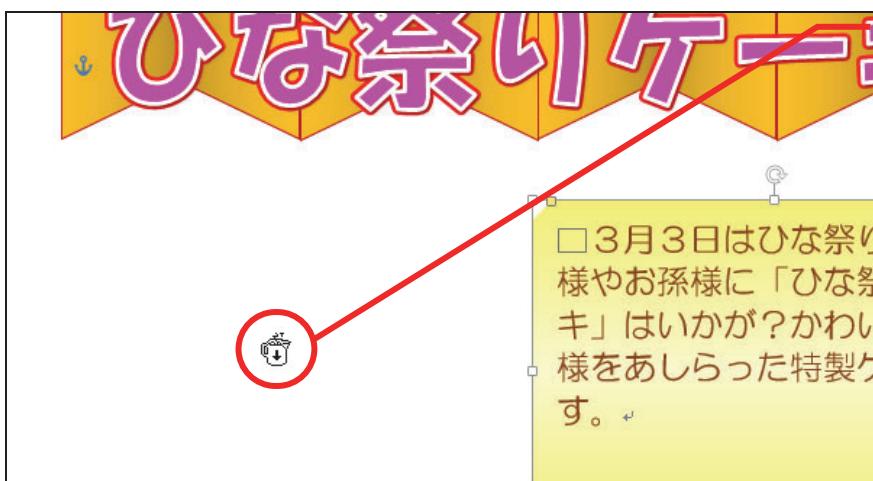
※ マウスポインタが  
↑←→↓になる場所で  
クリックします。



- ② [図形の書式] をクリックします。

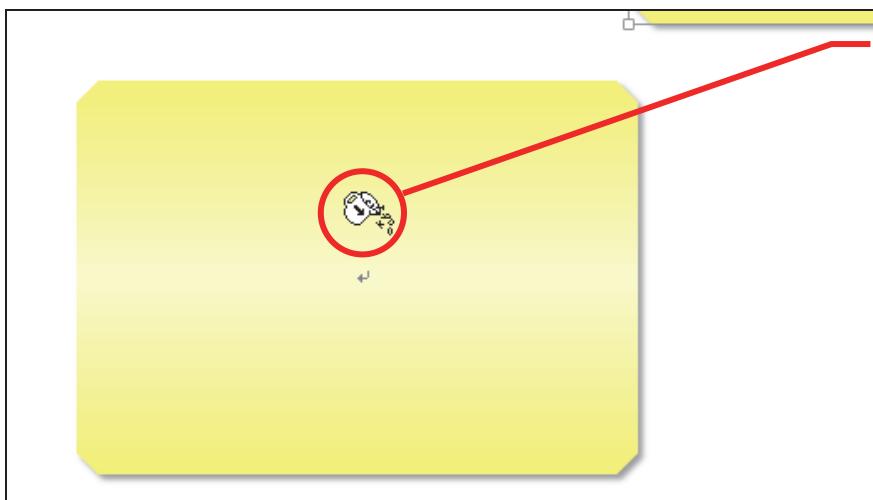
※ 2013は[書式]

- ③ [リンクの作成] をクリックします。



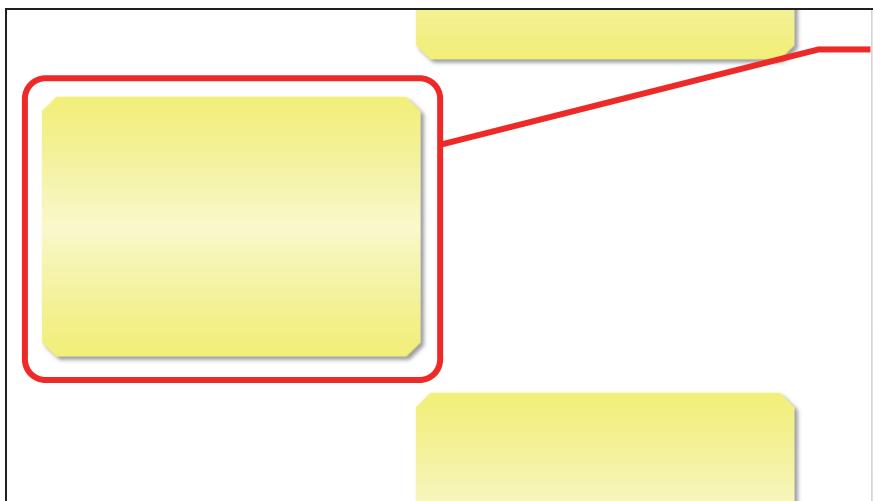
④ マウスポインタが  
✿ の形に変わります。

※ 途中でやめる場合は、[ESC] キーを押すとマウスポインタの形が元に戻ります。



⑤ リンク先となる次の図形をクリックします。  
例: 2つ目の八角形

※ クリックは、マウスポインタが✿ の形に変わる場所で行います。



⑥ [テキストボックスのリンク] が設定されました。

※ リンクする図形が2つの場合は、この手順で終了です。

## 第3章 オブジェクトの配置とページ罫線の応用

本章では、用紙全体を基準にしたオブジェクト（図形やワードアートなど）の  
[配置] の設定方法と、ページ罫線の上にオブジェクトを重ねる方法を学びます。

### 【完成例】

**AGENT INC**



## 情報流出対策について

近時、個人情報や企業の業務情報などがインターネット上に流出したとのニュースを見かけるようになります。ですが、ニュースで放送される事案以外に、被害が軽微なものまで含めると 2006 年以降で毎月 3 件以上、多い月では 10 件を越す被害が常に発生しています。これらはユーザーがファイル交換ソフトと呼ばれる類のソフトを使用することで発生しています。

当該ソフトを使用して手に入れた出所不明のファイルからパソコンがウイルスに感染してしまい、さらにそのファイル交換ソフトを通して情報が流出してしまうのです。これらは技術的な対策だけでは完全に防ぎきることはできません。よって、当社ではファイル交換ソフトは私的使用も含め一切禁止することとなりました。周知徹底の程よろしく御願い致します。



資料作成日：XXXX年2月1日  
問い合わせ先：情報システム部 葛西（内線789）

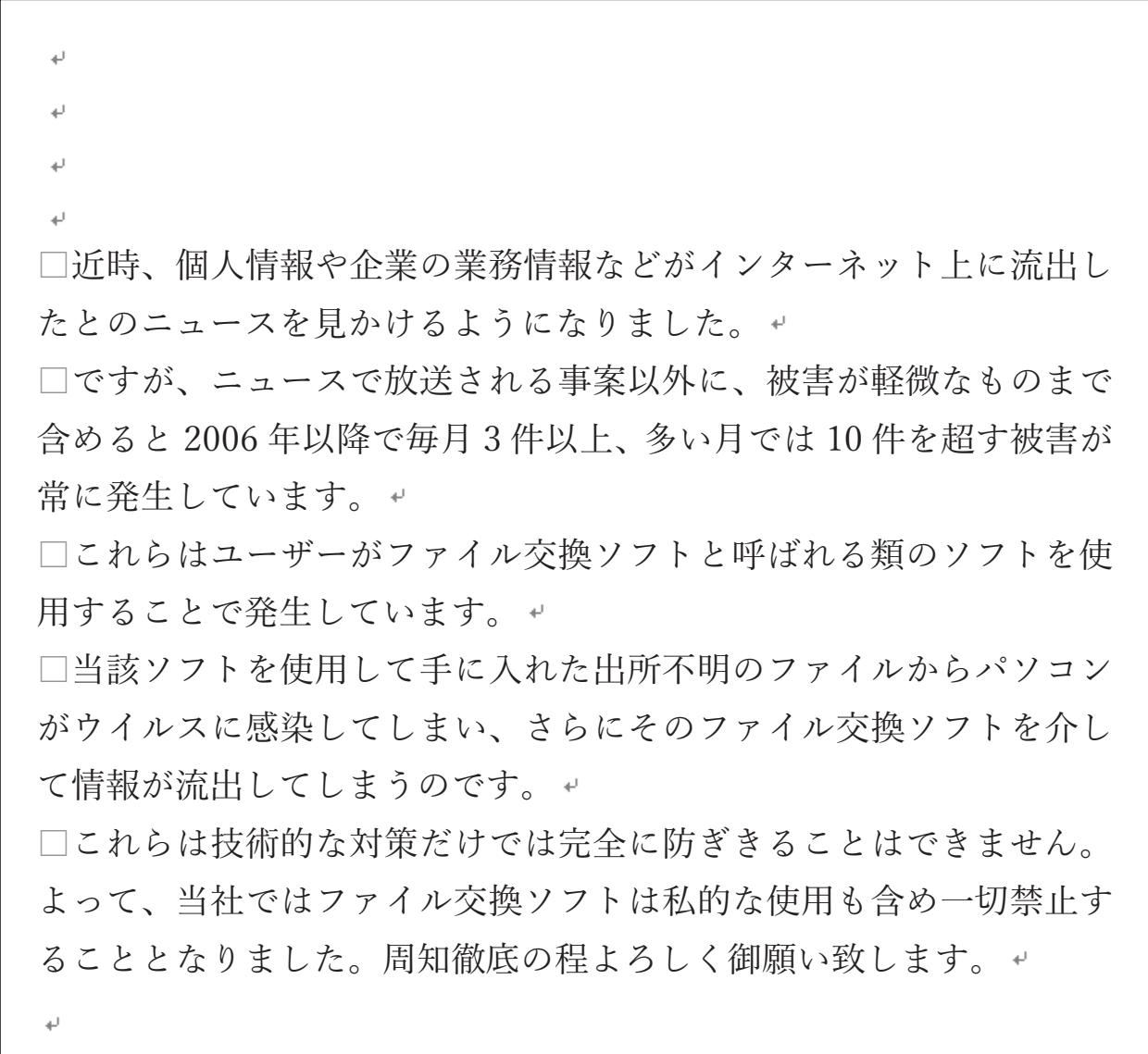
次ページから手順に沿って作成していきましょう。

## ● 文書作成の準備をする

① ワードを起動しましょう。

② 1行目から、下図のとおりに文字を入力しましょう。

※下の枠内の入力例は見やすくするために文字を大きくしていますので、  
折り返し位置は実際の画面と異なります。



□近時、個人情報や企業の業務情報などがインターネット上に流出したとのニュースを見かけるようになりました。 ↗

□ですが、ニュースで放送される事案以外に、被害が軽微なものまで含めると 2006 年以降で毎月 3 件以上、多い月では 10 件を超す被害が常に発生しています。 ↗

□これらはユーザーがファイル交換ソフトと呼ばれる類のソフトを使用することで発生しています。 ↗

□当該ソフトを使用して手に入れた出所不明のファイルからパソコンがウイルスに感染してしまい、さらにそのファイル交換ソフトを介して情報が流出してしまうのです。 ↗

□これらは技術的な対策だけでは完全に防ぎきることはできません。よって、当社ではファイル交換ソフトは私的な使用も含め一切禁止することとなりました。周知徹底の程よろしく御願い致します。 ↗

③ 5 行目以降に、次の書式を設定しましょう。

- ・フォント……… [MS ゴシック]
- ・フォントサイズ… [16]
- ・文字を行グリッド線から外して行間を詰める
- ・行間隔…………… 倍数 [1.4]

### 3-2 ページ罫線を部分的に設定する

ページ罫線を部分的に設定します。

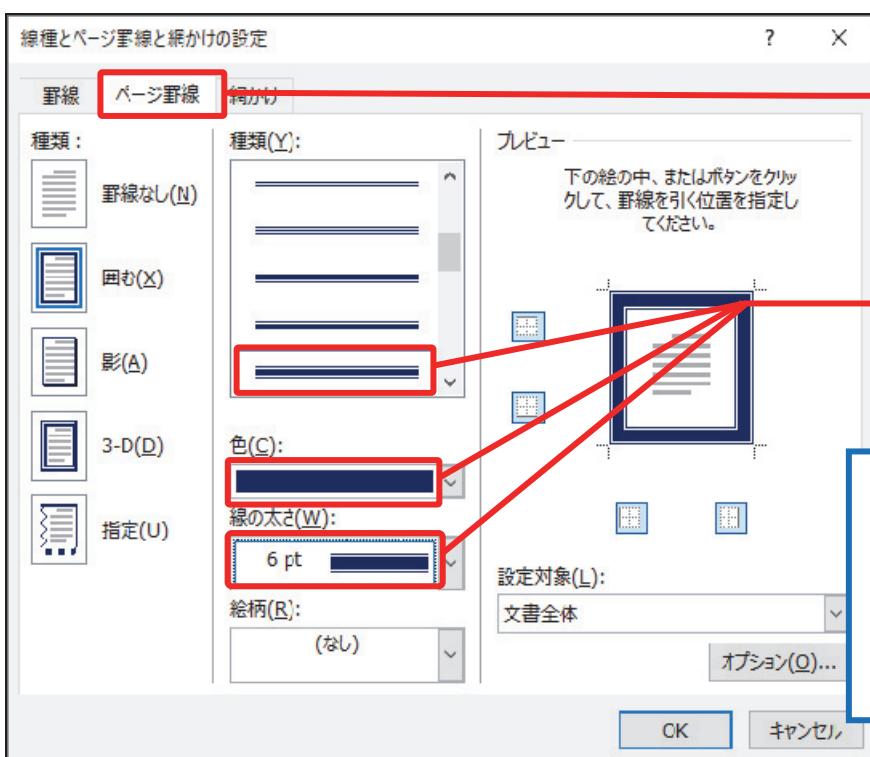
ページ罫線を上下の辺のみ設定してみましょう。



① [デザイン] をクリックします。



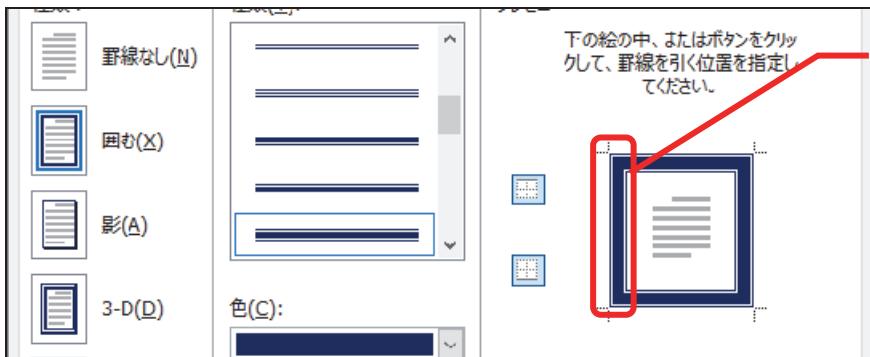
② [ページ罫線] をクリックします。



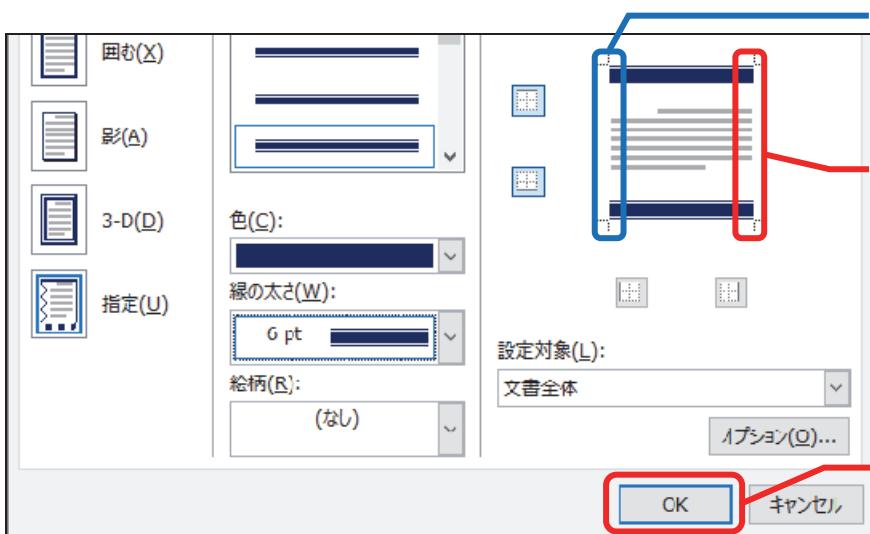
③ [ページ罫線] をクリックします。

④ 各項目を設定します。

※ 図は、  
 ・種類 [ ]  
 ・色 [濃い青]  
 ・線の太さ [6 pt]  
 を設定しています。

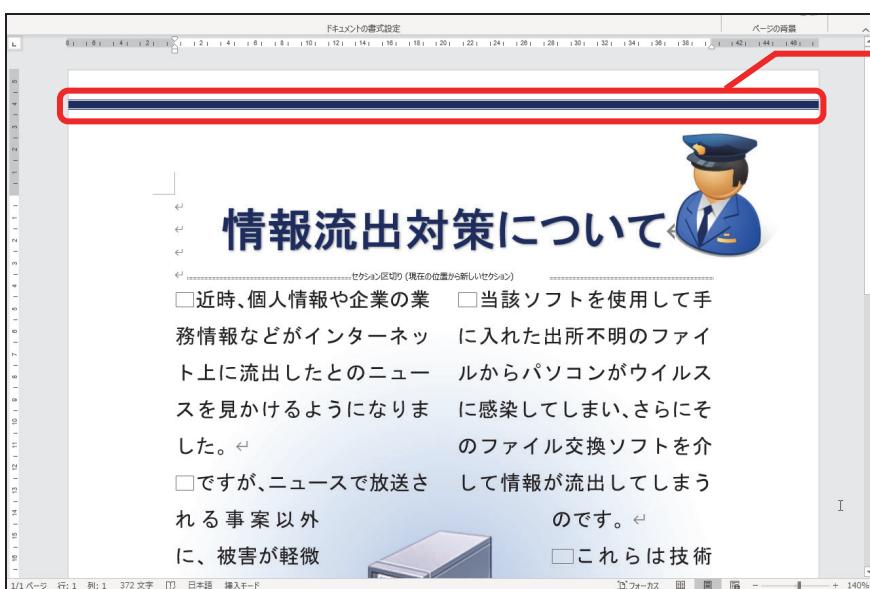


- ⑤ [プレビュー] 欄で削除したい辺をクリックします。  
例：左辺



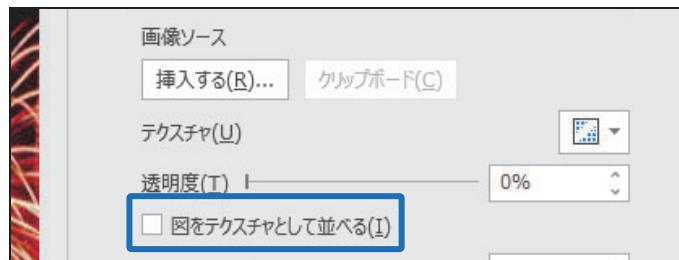
- ⑥ 他に削除したい辺があれば、同様にクリックして削除します。  
例：右辺

- ⑦ [OK] をクリックします。

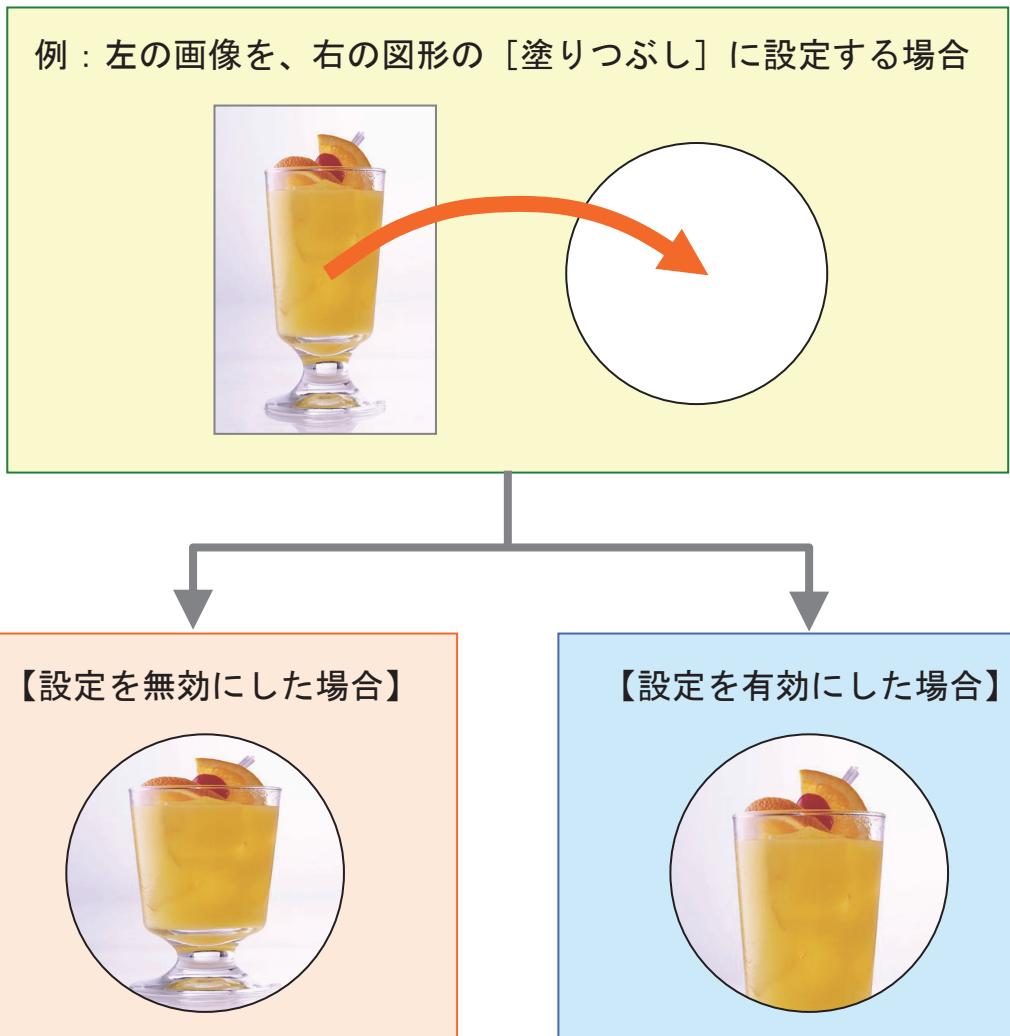


## 【参考】 画像の縦横比を変更せずに図形の塗りつぶしを行う

前項の手順⑫の画面内にある【図をテクスチャとして並べる】を有効にすると、画像の縦横比が変わらないまま挿入されます。



有効にした場合と無効にした場合の違いは、下図のとおりです。  
状況に応じて使い分けましょう。



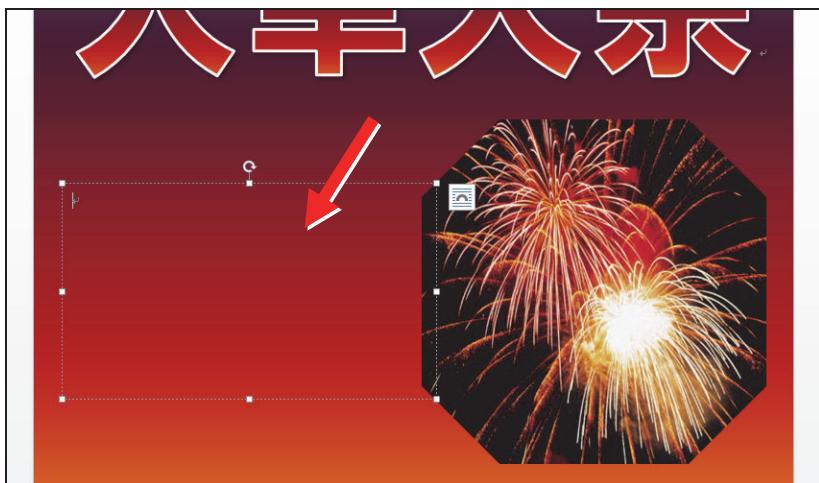
画像が図形の大きさに合わせて挿入されます。  
画像と図形の大きさによっては、  
画像がつぶれたようになります。

画像の縦横比を変えずに、図形内に挿入します。  
画像と図形の大きさによっては、画像の一部しか見えなくなります。

## ● 文書を編集する

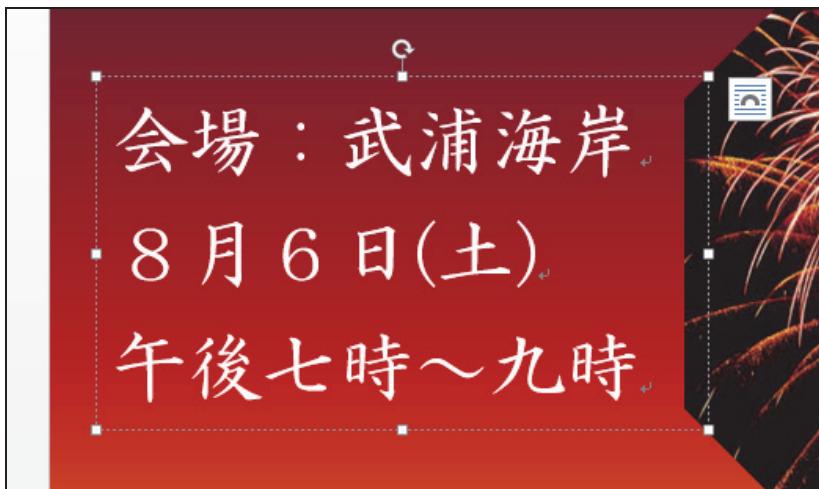
① 下図のとおりに、テキストボックスを挿入しましょう。

- ・図形の塗りつぶし…… [塗りつぶしなし]
- ・図形の枠線…………… [枠線なし] (2013 は [線なし])



② 挿入したテキストボックスに、下図のとおりに文字を入力しましょう。

- ・フォント…………… [HG 正楷書体-PRO]
- ・フォントの色……… [白、背景 1]
- ・フォントサイズ… … [36]

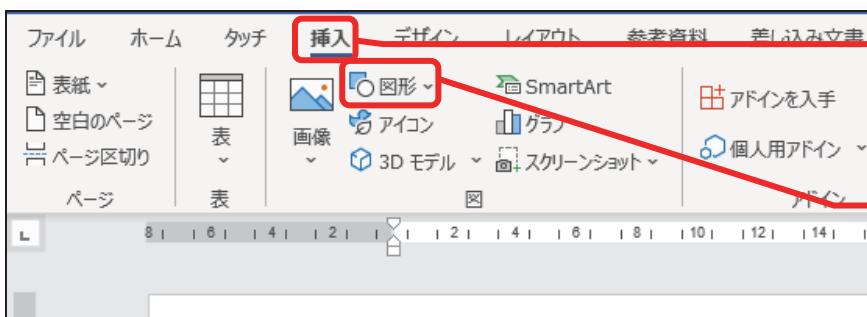


## ● 文書作成の準備をする

- ① ワードを起動しましょう。

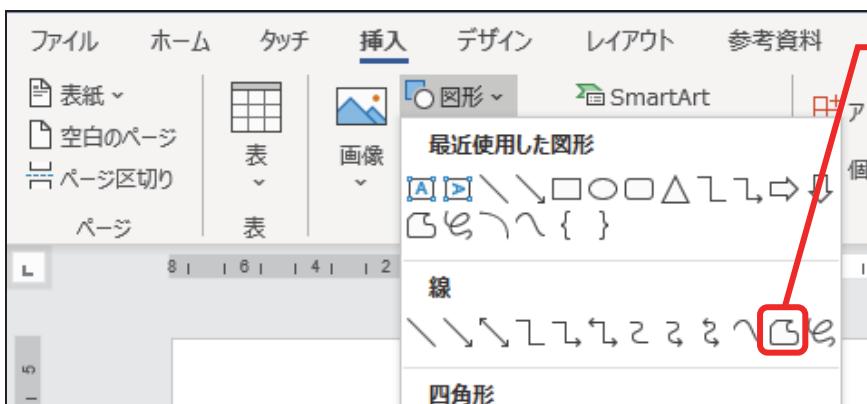
### 6-1 フリーフォームで自由に線を描く

「フリーフォーム」は、折れた直線や手書き風の線を描くことができます。フリーフォームを使って、ちぎった紙片のような図形を描いてみましょう。



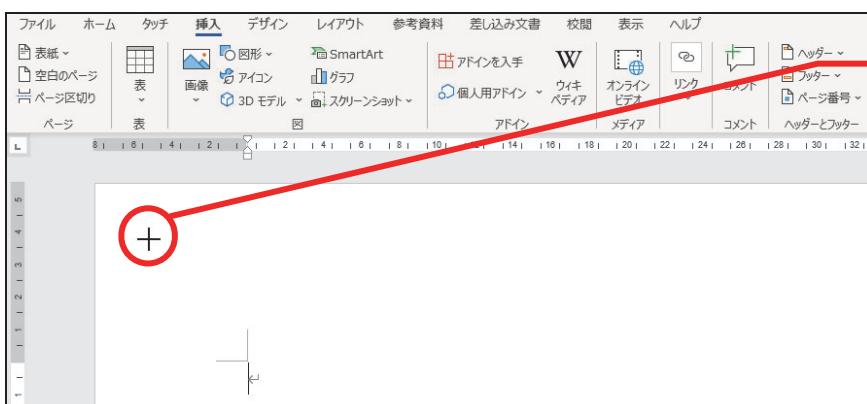
① [挿入] をクリックします。

② [図形] をクリックします。

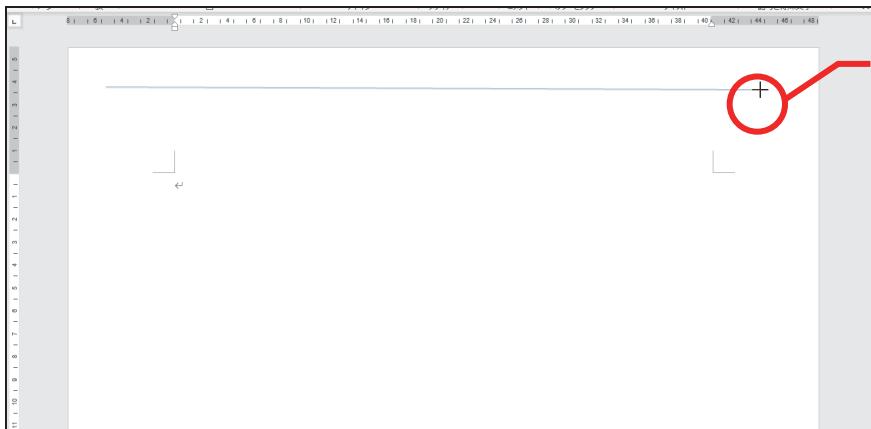


③ [フリーフォーム: 図形] をクリックします。

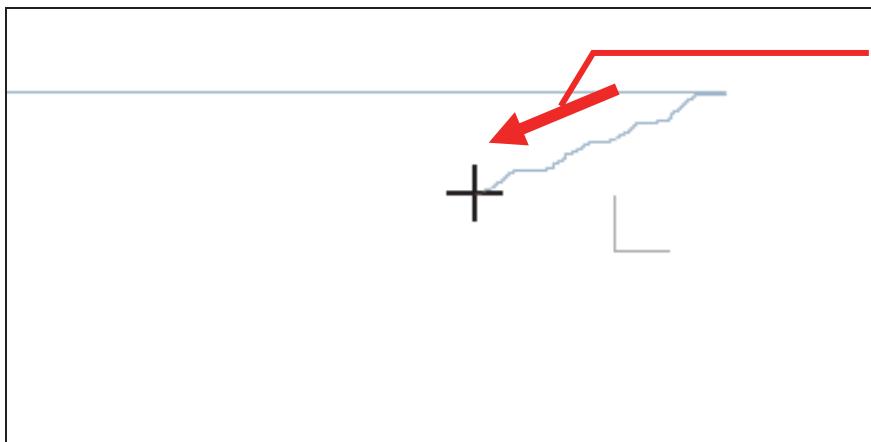
※ 2013は  
[フリーフォーム]



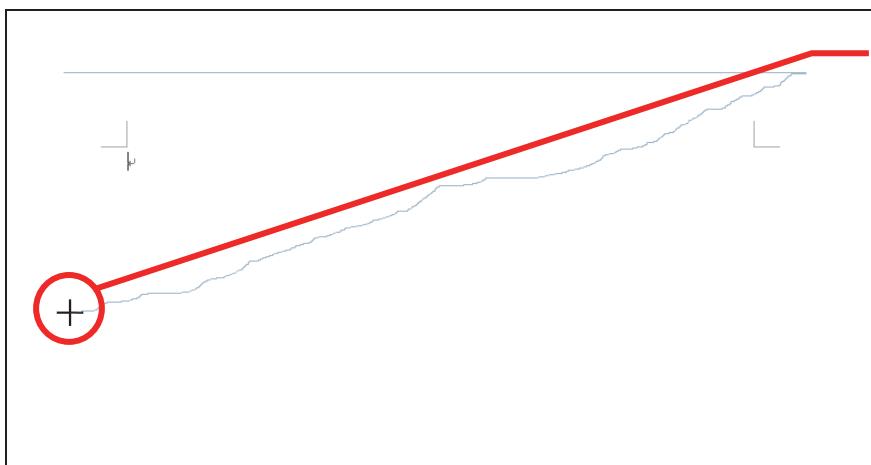
④ 直線を引きます。  
線を開始したい位置でクリックします。  
例：左図の位置



- ⑤ 次に折り返したい位置でクリックします。  
例：左図の位置



- ⑥ 続いて、手書き風の線を引きます。  
そのまま、**ドラッグ**して線を描きます。  
例：左図参照

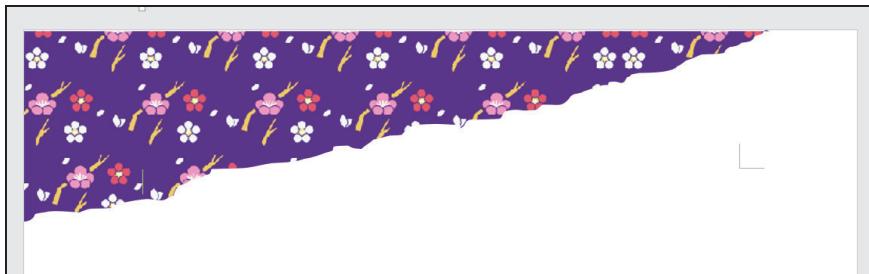


- ⑦ 手書き風の線を終了するには、終了したい位置でドラッグをやめます。  
例：左図の位置

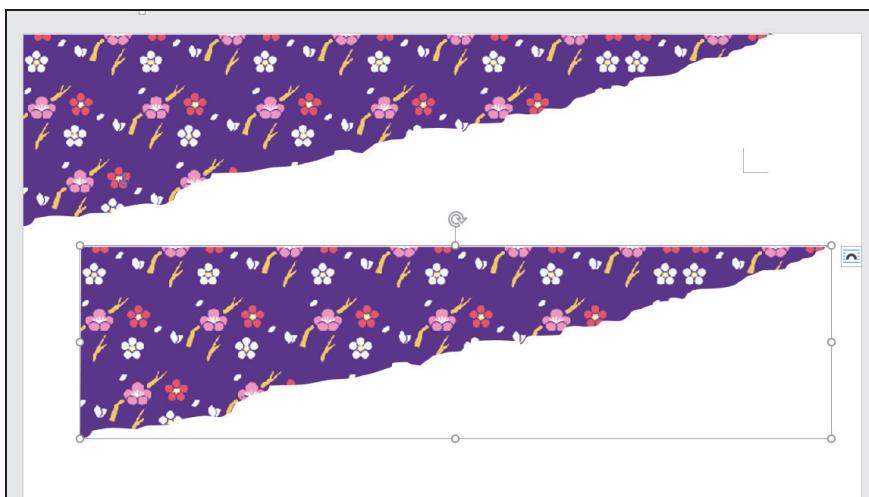
## ● 文書を編集する

① 前項で作成した図形を、次のとおりに編集しましょう。

- ・図形の塗りつぶし… USB メモリの [千代紙 1] (P.37)  
→ [図をテクスチャとして並べる] を有効 (P.41)
- ・図形の枠線…………… [枠線なし] (2013 は [線なし])
- ・図形の効果…………… [影] → [オフセット：右下]  
(2013 は [オフセット (斜め右下)])



② 図形を下図のあたりにコピーしましょう。



## 6-2 図形を反転する

図形を左右、または上下に反転します。

コピーした図形を左右に反転してみましょう。

